



地域医療
支援病院

災害拠点
病院

地域がん
診療連携
拠点病院

患者サポートセンター広報誌

九州労災病院

九労 Kyuro Hello! ハロー

理念 地域住民と勤労者の皆様に、良質で安全な医療を提供します。

- 基本方針**
- 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を提供します。
 - 地域医療機関との連携を重視し、中核病院として高度専門医療を担います。
 - 働く人々の健康を守り、治療と仕事の両立を支援します。
 - 患者さんに寄り添う心と、高い技能を兼ね備えた医療人を育成します。
 - 経営基盤が安定し、働き甲斐のある病院づくりを目指します。

2023.October vol.96



がんばって
います!!
診療科紹介

外科

外科部長・肝胆膵外科部長 中島 洋

平素より大変お世話になっております。

当科は、急性期医療を担う地域の基幹病院として、地域の皆様の要望に応えることができるよう、日常的な疾患から高度な専門的治療を要する疾患まで、幅広く対応できる体制を整えています。九州大学と産業医科大学より、専門医の資格を有したスタッフが派遣され、12名体制で診療を行なっています。

当院は地域がん連携拠点病院に指定されており、がん診療機能のさらなる強化、充実にも努めています。当科では、ガイドラインで推奨されている標準治療を遵守しながらも、癌の進行度と患者さんの社会的背景

を総合して治療方針を決定します。そして、早期癌に対する機能温存手術から進行癌に対する高難度手術まで、各分野の専門医が担当して行っています。多くの症例で、根治性と安全性を損なうことなく、鏡視下で低侵襲手術を行います。手術が困難な症例に対しては、他科と密に連携をとり、薬物療法、放射線治療を含む集学的な治療を行います。治療に際し、栄養指導、リハビリテーション、就労支援、精神的ケア、緩和ケア、ストーマケア等を含めた包括的ながん診療支援を行います。

地域の皆様が、九州労災病院でよかったと思っただけのように、最良の医療を提供したいと思っておりますので、今後ともどうかご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◆ 内視鏡外科部門

内視鏡外科部長 萩野 利達

皆さんの治療に貢献できるように日々の診療を行っています。

私どもは、内視鏡外科技術（腹腔鏡）、化学療法の知識（抗がん剤治療の up date）があることは大前提で、ひとりひとりの患者さんに寄り添う心が重要と考えています。特に患者さんの日々の生活を想像し、様々な治療の選択肢を提示しています。その一例として治療の基本である手術治療は、2名の日本内視鏡外科技術認定医が在籍しており、手術のクオリティー（質）を担保しています。さらに内視鏡手術で体に低侵襲な手術をし、抗がん剤が必要な状態であっても、円滑な治療導入を行っています。

① 悪性腫瘍（がん関連）

消化器内科との連携を重視し、術前検査から手術治療までスムーズな診療体制となっています。

上部消化管（食道、胃領域）のトピックは、胃癌学会認定施設に登録され、専門的な治療を提供していることです。オリンパス社の VISERA ELITE システムを用いて 3D イメージングシステムを用いています。難易度の高い食道亜全摘や胃切除の既往がある方の残胃全摘も内視鏡下手術で安全に行っています。また、近年増加傾向にある食道胃接合部癌に対しては、胸腔内での吻合も選択肢として提示しています。

下部消化管（大腸領域）ですが、放射線治療機器の最新鋭機であるアキュレイ社 Radixact X7 が導入されたことで、直腸癌に対して放射線治療と抗がん剤を併用し肛門機能温存を含めた治療の選択肢が増えました。高度浸潤例に対しては、近赤外光を使用して尿管を可視化し安全性を担保しています

化学療法の分野では、免疫チェックポイント阻害剤（オプジーボなど）の使用経験も多くあります。安心して治療を行って頂くために、免疫関連有害事象対策アルゴリズム（副作用治療）を対策チームで作成し、迅速な対応を心がけています。



日本胃癌学会認定施設認定書



近赤外線 Off

NIRC™ 蛍光尿管カテーテルを厚さ約 1.5mm の筋肉で覆い、

近赤外線カメラで撮影



近赤外線 On

② 良性疾患

食道裂孔ヘルニア、直腸脱、鼠経ヘルニアの治療にも内視鏡手術を行っています。低侵襲手術で疾患を治療し、体の負担を少なく生活の質を改善することを目指しています。巨大な食道裂孔ヘルニアに対して腹腔鏡下で修復することが可能です。直腸脱は、再発率の低い腹腔鏡下での吊り上げ固定法も行っています。

鼠経ヘルニアには特に力を入れており、詳細は次ページをご参考下さい。

③ 緊急手術

判断力が大事になると考えています。On call（夜間や休日の呼び出し）は、2人体制を敷いており、迅速な対応をしております。

最後に、外科医局の風通しを大切にしています。日常のカンファレンス（治療方針の会議）では心理的安全性を重視し、年齢関係なく治療方針に関する考えを発言できるように心がけています。手前みそになりますが、人間性も保証できる医師がそろっており、チーム一丸となって患者さんに安心して頂ける治療体制であると自負しています。心技体を整えて治療に携わることができればと思っています。

労災病院外科は充実中です。

◆ 鼠径ヘルニアについて

外科医師 満吉 将大

「鼠径ヘルニア」、俗語では「脱腸」と言われている良性疾患です。

早速ですが、一般人5万人と内科医207人へ行った鼠径ヘルニアのWEB調査結果を紹介します。

「鼠径ヘルニア」・「脱腸」を聞いたことがある方は78%とそれなりに認知されています。しかし、86%の方が「鼠径ヘルニアの症状は知らない」と答えています。つまり「鼠径ヘルニア=脱腸」と思っていない人も多いようです。多くの患者さんが鼠径部のしこりで内科を受診しますが、内科を受診した患者さんの4割は外科へ紹介されていない結果でした。

生涯で男性の3人に1人は脱腸になると言われており、日本では年間約15万件の手術数があります。鼠径ヘルニア嵌頓による緊急手術率は年間1-3%との報告はありますが、嵌頓する直前の特別な前駆症状はありませんし予防策もありません。緊急手術の死亡率は予定手術と比較し26倍となる報告もあります。

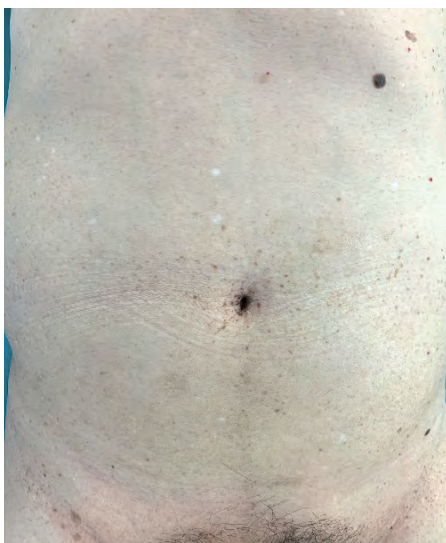
股間のトラブルはデリケートな問題で、受診自体のハードルが高いと思われませんが、患者さんから「下腹

部が出っばる」「最近食欲がない」「便秘がち」などの何気ない言葉がありましたら、積極的な鼠径部の診察を行っていただければと思います。

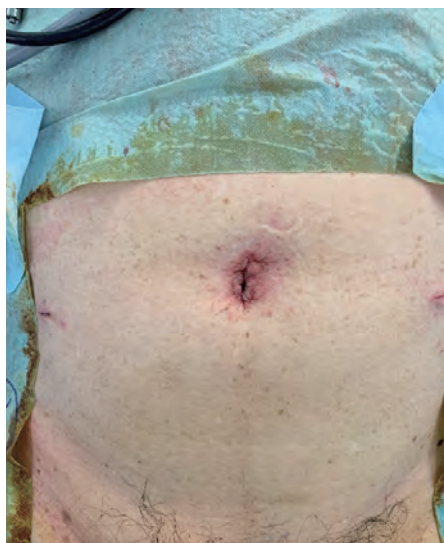
九州労災病院外科では腹腔鏡を用いたヘルニア手術を積極的に行っています。全身麻酔での手術となりますので、安全を考慮し入院管理(3-4日程度)としています。腹部のキズは3ヶ所(12mm、5mm、5mm)と比較的小さなキズで行っています。小さなキズのため術後疼痛の訴えは少なく、当日から歩行が可能です。当院で手術をされた80代男性の写真を貼付します。術後2週間後の写真ではほぼキズが目立たなくなり、整容性に優れた手術となります。

鼠径ヘルニアを疑う患者さんがいらっしゃいましたら、お気軽に当科へ治療のご相談をいただければ幸いです。

今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。



術前



術直後



術後2週間

第7回 地域連携緩和カンファレンス

(令和5年度第3回地域連携勉強会)

開催日 令和5年

11月16日(木) 19時00分~

テーマ 「在宅緩和ケアの実際を知る」

講師 新田医院院長 新田 智之 先生

対面形式・Web開催

【お問い合わせは地域連携部門にご連絡下さい】

皆様のご参加
お待ちしております！



独立行政法人 労働者健康安全機構
九州労災病院

〒800-0296 北九州市小倉南区曾根北町1-1

TEL 093-471-1121 (代表)

ホームページ

<https://www.kyushuh.johas.go.jp>



患者サポートセンター

患者サポートセンターSTAFF

センター長 副院長 中島 信能

入退院支援部門 師長 薮田 万喜

社会福祉部門 MSW 坂出 友美 / 豊嶋 奈保子

地域連携部門 事務 加藤 大成 / 二見 誠司 / 桑 恭平 /
今林 みゆき / 藤田 敦子 / 宮本 弘子

お問い合わせ先

入退院支援部門 代表電話 093-471-1121

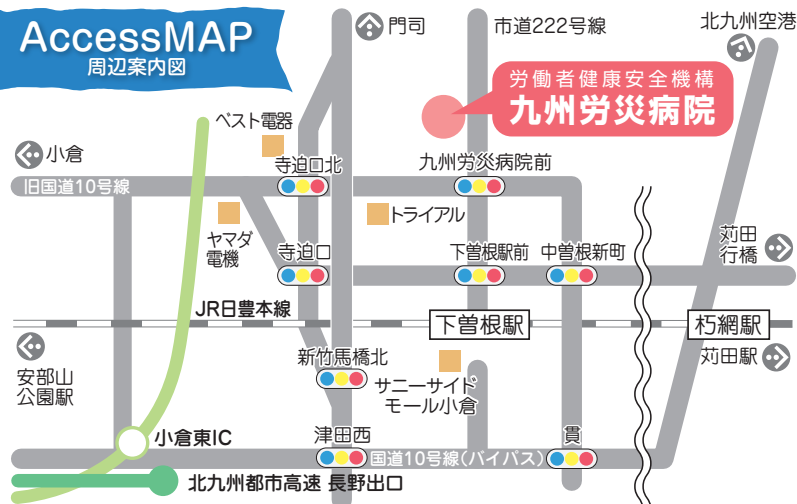
社会福祉部門 直通電話 093-475-9686

地域連携部門 FAX 093-473-5903

共通 E-mail renkei.renk-k@kyushuh.johas.go.jp

AccessMAP

周辺案内図



診療案内

受付時間 午前8時15分～午前11時

救急受付 急患は24時間随時受け付けます

診療時間 午前8時45分～午後5時15分

休診日 土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月29日～1月3日)

初診時 7,700円
選定療養費 診療情報提供書のご持参を
お願いしております